

取組みのカテゴリ

安全パトロール

労働安全教育の工夫

はさまれ・巻き込まれ対策

腰痛対策

墜落・転落対策

企業情報

所在地：埼玉県

従業員：230名

背景

- 「人を大事にする」社風から、製造業として労働安全は当然という考えがあるため
- 多品種少量化の製品戦略から労働集約的なモノづくりで、労働安全の取組みは必然的であるため

取組内容

1. 【危険源抽出のためのヒヤリハット活動】

- 記入用紙と投書箱を準備し、ヒヤリハットしたことを全従業員に投書してもらいます。この他、E S 調査でも現場の意見を抽出しています。集めた情報は、安全衛生委員会で優先順位を決めて、極力対応するようにしています。書きやすさ、提出しやすさを向上させるため、やり方を毎年見直しています。

職場で起きたヒヤリ・ハット 報告書

みなさんの職場で起きていること、ヒヤリとしたこと、ハットしたこと、また近所近隣の事故などの見聞が必ずしも発生して下され、避けては通れないかもしれません。これら、当該の発生状況について、安心して働ける職場づくりの資料として活用させていただきます。

1. 報告の概要

いつ 発生、または 見聞きしたか	誰	どこ	原因 (仮定)	結果 (仮定)
2024.05.10	〇〇	〇〇	作業中に手はさまれ	軽傷

2. このよう内容が明らかになった場合、発生原因の再発防止、再発防止策を記入して下さい。

発生原因の再発防止策	対策 - 担当者	対策の実行時期	対策の進捗状況

2. 【目的別委員会の設置】

- 社内にテーマ別に13の委員会を設置し、そのうちの一つに安全衛生委員会があります。委員会は、幅広い階層から選出され運営しています。委員会は、各年、全従業員の約半数が所属するため、委員会の役割認識度は自然と高くなり、委員ではない従業員も活動に積極的、協力的な風土になりました。

3. 【安全カバー、非常停止装置】

- ヒヤリハットなどから抽出された危険箇所は順次、対策を行っています。元の米菓設備は、労働安全の危険箇所が多かったことや、工場が狭く、コンベアのレイアウト改善の必要性もあったため、工務担当者の育成を進めました。結果的にメーカーの制約を受けずスピーディー対応できました。特に回転部や駆動部の安全カバーの取付や非常時の停止ボタンの設置を進めています。



4. 【作業を楽にする作業台、ジャッキ台車の改善で腰痛対策】

- 当社には、一人一研究という活動があり、従業員が年間1件、アイデア出しから、治具の確認、実運用まで行い、成果発表しています。
- 一人一研究で、労働安全に関連した改善も進んでいます。左の写真は、作業台の高さを調整できるように改善した事例です。右の写真は、重量物をジャッキで昇降できるように改善した事例です。この改善で、作業が楽になり、腰痛対策に繋がりました。
- どちらの改善も女性のパートナー社員が取り組んだ成果で、製作は、工務担当が会社にあるもので作ってくれたので、低コストで実現できました。



副次的効果

- 安全の取組みだけではないが、マスコミなどで紹介され知名度が向上しました
- 労働安全の取組みも含め、働きやすい会社という噂が近所に広がり、従業員募集の応募が増えた

取材年月：2020年11月

* 上記取組みは、当該企業の労働安全の取組みの一部です。